

沖縄県では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「緊急事態宣言」や「沖縄コロナ警報」を発出してきましたが、感染減少の兆しが見られない状況にあります。

病床占有率も80%を超えるなど、医療現場においては厳しい状況が続いており、年末年始には医療崩壊を招く危険性も高まっています。

また、12月14日、那覇市・浦添市・沖縄市内の飲食店及び接待を伴う遊興施設等に営業時間短縮の要請を発表しました。

年末の医療崩壊を回避するためには、なんとしても新規感染者数の減少を図らなければならず、本来、救える命を失うようなことになってはなりません。

町民の皆さまにおかれましては、これからも新型コロナウイルスとの戦いは長期に及ぶとみられることから、検温などの体調管理を徹底し、感染リスクが高まる行動は控えるようにして下さい。

年末年始を安全・安心に過ごすために「うつらない」「うつさない」行動をとり、不特定多数との接触を避け、出来る限り同居家族と過ごして下さい。また、祖父母等の高齢者を守るため、大人数での会食を避け、ホームパーティー等についても十分な対策を図りながら行うようにして下さい。

感染拡大を押さえ込むには、できることをしっかりとやっていただき、集中して取り組むことが大切です。これからも皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

令和2年12月15日

与那原町長 照屋 勉